



平成 20 年 10 月 1 日(水)

お客様各位

アストマックス FX 株式会社
関東財務局長（金商）第 239 号
〒150-0013
渋谷区恵比寿 1 丁目 20 番 18 号
三富ビル新館 3F

アイスランドクローナの取引停止について

本日、アイスランドクローナ（ISK）を含む通貨ペアの取引を停止すると SAXO 銀行から通知があったことについて、外国為替証拠金取引（FX）の仕組みをもとに状況をご説明いたします。

FX は、大きく分けてスポット取引とロールオーバー取引の二つから構成されています。どちらもインターバンク市場（銀行間市場）で行われている取引です。スポット取引は現物取引とも言われ、基本的には 2 営業日後には実際に通貨の交換を行う取引です。例えば、ISK/円の買い注文が成約した場合、2 営業日後には相手銀行の口座に円を振り込み、ISK を受け取ります。もちろん、総代金が必要になります。

次にロールオーバー取引ですが、これはスポット取引の決済を翌営業日に繰り延べる取引です。ただし、ロールオーバー取引ではスポット取引で約定した為替レートがそのまま引き継がれるわけではありません。原則としては 1 日の金利分だけレートに差がつきます（※）。これがスワップポイントです。

※このレート差は流動性の高い通貨では金利差に連動しますが、流動性の低い通貨では必ずしも金利差に連動しません。

FX は、まずはスポット取引でポジション（建玉）が建ち、その後ロールオーバー処理を続けていくことで、決済されないままポジションを維持することができるわけです。逆に言えば、この二つの取引のどちらかでも停止すれば、FX は成り立たないことになります。

今回、ISK の取引を停止すると SAXO 銀行から通知があった理由は、ロールオーバー取引が機能不全に陥ったことによります。ポジションを繰り延べることができなくなったため、決済せざるをえない状態となった模様です。これは、米国に端を発した金融市場の混乱が欧州にも波及し、銀行が極端なリスク回避姿勢となった結果、短期金融市場の流動性が低下していることに起因していると考えられます。アイスランドでも、同国第 3 位のグリトニル銀行が資金繰りの悪化から破たんし、国有化される事態となっております。ISK は平常時でも流通量が少ないため、現在のような異常事態では取引が成立せず、今回の緊急処置となった次第です。

外国為替証拠金取引は、取引対象である通貨の価格の変動により損失を被ることがあります。また、取引金額が預託すべき証拠金の額（取引金額の 2～8% 相当の額）に比して大きい場合、その損失の額が証拠金の額を上回ることがあります。取引対象である通貨の金利の変動によりスワップポイントが受取りから支払いに転じることもあります。当社が提示する売値と買値にはスプレッド（価格差）があります。売買手数料は原則無料ですが、取引コースによっては当社が定める取引数量未満の注文が約定した場合、一取引あたり 5 米ドル相当のミニマムチャージを徴収します。